



市民病院事務局長

## ～(株)ヘルスケアシステムズと共同、花王(株)の協力で～ 乳幼児の肌バリア検査実証実験を開始します

令和5年4月から株式会社ヘルスケアシステムズ（以下ヘルスケアシステムズ）と共同で「肌バリア検査による保護者の肌ケア意識・行動の変化および乳幼児の肌状態への影響を検討する実証実験」を開始します。

この実証実験では、花王株式会社（以下花王）の協力のもと、令和5年3月から令和5年11月に蒲郡市民病院で生まれた生後1か月の乳児に対し、皮脂RNAの情報から肌バリア機能の状態を判定し、肌状態に合わせたアドバイスを提供することで、早い段階から肌ケアの習慣を推奨することの有用性を検証していきます。



### 記

#### 1 実証実験の背景

肌の最外層にある角層には外部刺激から肌を守るバリア機能があります。この肌バリア機能が低いとアトピー性皮膚炎の発症リスクが高いことが分かっており、乳幼児期に発症するアトピー性皮膚炎は、食物アレルギーや気管支ぜんそくなどを引き起こす「アレルギーマーチ」の入口となることも指摘されています。そのため、肌のバリア機能低下の兆しを早くに見つけ、保湿などのケアによって、「肌バリア」を良い状態に保つことが有用であると考えられます。

令和5年3月、ヘルスケアシステムズは、花王の開発した皮脂RNAモニタリング技術を活用し、見た目ではわからない乳幼児の肌バリア機能の状態を把握し、肌に合わせたアドバイスを提供する郵送検査サービスをスタートさせました。

子育て支援や医療の充実に取り組む蒲郡市は、保護者が乳幼児の皮膚状態を把握し、早期から肌ケアへの意識を高め、肌に合ったケアを習慣とすることが、子どもの健やかな成長にとって重要と考えました。そこで、ヘルスケアシステムズとともに、花王の協力のもと生後1か月時点の乳児に『肌バリア検査』を活用した場合の保護者の意識・行動を半年間調査するとともに、生後7か月時点の肌の状態を生後1か月時点での『肌バリア検査』未実施の乳児と比較する実証実験を実施します。



## 2 実証実験名

肌バリア検査による保護者の肌ケア意識・行動の変化および乳幼児の肌状態への影響を検討する実証実験

## 3 実証実験期間

令和5年4月～令和6年6月

## 4 実証実験共同機関

株式会社ヘルスケアシステムズ 代表取締役社長 瀧本陽介  
愛知県名古屋市昭和区白金1丁目14-18

## 5 実証実験協力機関

花王株式会社 代表取締役社長 長谷部佳宏  
東京都中央区日本橋茅場町1丁目14-10

## 6 対象者

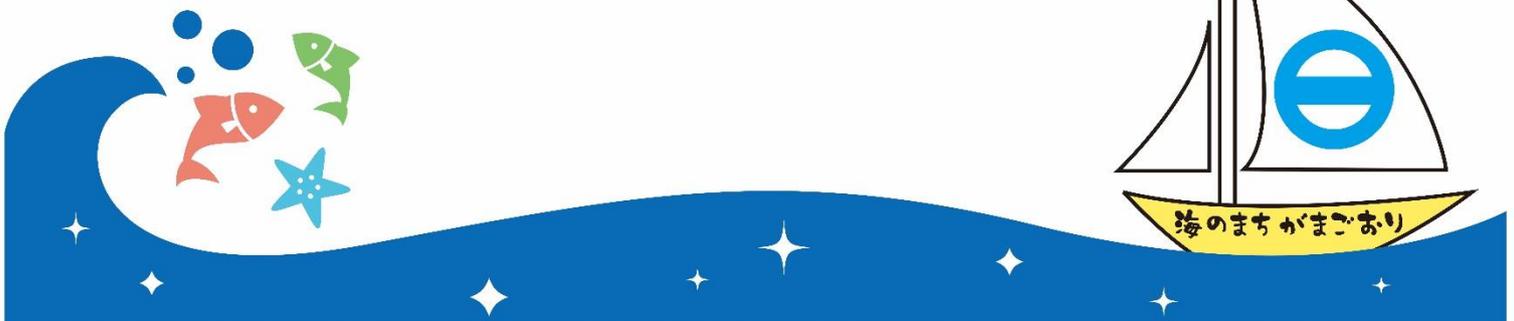
- ①肌バリア検査実施 令和5年3月～令和5年11月に生まれ、蒲郡市民病院にて1か月児・7か月児健診、蒲郡市保健医療センターにて4か月児健診を受ける乳児
- ②肌バリア検査未実施 蒲郡市民病院で7か月児健診を受ける乳児

## 7 実証実験実施場所

- 1か月児健診、7か月児健診は 蒲郡市民病院
- 4か月児健診は 蒲郡市保健医療センター（蒲郡市浜町）

## 8 実証実験の概要

- (1) 乳児①に対して、1か月児健診時に医師の診察、肌バリア検査を実施
- (2) 乳児①の保護者に、乳児の肌バリア状態の結果及び肌ケアのアドバイスを提供し、半年間の肌ケア実践状況を調査
- (3) 乳児①の保護者に、蒲郡市保健医療センターでの4か月児健診時に肌ケア動画の視聴及び肌ケアチラシを配付
- (4) 乳児①に対して、7か月児健診時に再度、医師の診察及び肌バリア検査を実施
- (5) 生後1か月に肌バリア検査を実施していない乳児②に対して、7か月児健診時に医師の診察及び肌バリア検査実施
- (6) 乳児①と、乳児②の生後7か月時点での肌状態を比較し、肌ケアの習慣を推奨することの有用性を検証する。



蒲郡市長 鈴木 寿明 コメント

蒲郡市は、市民の皆さまが安心して出産・子育てをできるよう、様々なニーズに即した支援・サービスを行っています。このたびの実証実験は「赤ちゃんの肌」がテーマです。将来にわたるお子様やご家族のQOLに影響を及ぼす健康課題に向けて、この取り組みが第一歩になることを期待しています。

蒲郡市民病院 渡部 珠生 コメント<医師>

子どもの健康を守るには保護者の方との連携が不可欠です。今回の検証は、ご家庭での乳児の肌ケア実態を広く知ることができるという点で、医療者にとっても大変意義深いものだと考えています。

### 【問合せ先】

蒲郡市民病院デジタル医療推進室 西浦 0533 (66) 2200

ヘルスケアシステムズ 東京オフィス 03 (6809) 2722

花王 企業PR戦略部 03 (3660) 7041

